

## 【おやじ仕草】・・・鈴木



今月は、女性から見た「おじさんたちの仕草」ランキングというのを取り上げたいと思います。男性は女性からどう見られているか、気になる方がいると思います。仕事で、お客様からどう見られているかとか、社内の人間にどう思われているかについて考えてみましょう。

女性に嫌われるランキング一位は、道端につばを吐く。二位は、食後につまようじでシーハーする。三位は、シメのお茶で口の中をゆすぐ。次に、お札を数える時や買い物袋を使う際に指をなめる、座敷や電車の中で座っているときなどで靴下を脱ぎだすと続きます。

人は何度も会っているうちに、自然と打ち解けるといふケースも多いと思います。この、接する回数が増えるほど好意度や印象が高まる効果を「単純接触効果」と呼ぶそうですが、会えば会うほど嫌いになる人がいるのも日常だと思います。その「嫌われる原因」を正直に指摘してくれる人こそ、その場では「嫌なヤツ」かもしれませんが、実は一生涯大切にしたい人ではないでしょうか。実際、自分が「こう見られたい」と思っている姿と、相手から「こう見られている」という姿は、必ずしも一致していないことが多いと思います。

逆に、女性が好む男性の仕草ランキングがあります。

三位は、大きなクルマをスイスイと運転し、特に後ろを見ながらバックする姿とか、狭い道のスレ違いや縦列駐車を苦もなくこなす姿だそうです。特に運転が苦手な女性から見ると、「カッコいい」「男らしい」という評価が並びます。

二位は「さりげなく車道側を歩く」だそうです。男性が女性をエスコートする際の、基本中の基本マナーとのこと。女性相手だけでなく、子どもやお年寄りを自然にエスコートできる男性はステキですとの意見がありました。

一位「さりげなく荷物を持ってくれる」です。あくまで、さりげなく荷物を持つのがポイントだそうです。バッグやコートなど、何かと荷物が多い女性陣から、圧倒的によろこばれていたのは「荷物持ち」だそうです。ショッピングのとき、上着の脱ぎ着や靴の脱ぎ履きのときなど、さりげなく手伝うべきシーンは、日常の中にたくさん転がっています。「さり気ない優しさや気遣いを見せてくれると、本当にうれしい」のだそうです。

好きな仕草とは、さりげない、何気ない、がキーワードになっているのかなと思います。日常生活での仕草は、意識してはできないものです。しかし

ながら今日からほんの少しだけ、「さり気ない笑顔」に気をつけていきたいと思います。

コロナ過の中、インフルエンザも流行の時期に入りなりましたので、皆様どうぞご自愛ください。

## 【違う視点から】・・・小倉

年々、月日が経つのが早く感じるような気がしています。

先月に宣言した身体を動かす事を少しでも有言実行したいと思い、早速運動教室に申し込みをしまして継続していきたくです。このままではいけないと思いつつ時間だけが過ぎてしまっていました。時間がない、忙しいを言い訳にしたくはないし、本当に大変な時は、そんなことも言ってもらえないし都合の良い言い訳なのかもしれません。

先日、インフルエンザ予防接種を受けに病院に行きました。診察時間外の予約時間でもあったので、安易に早く終わるだろうと思っていたら、とんでもない患者数であり、受付の方の対応が機械的に行い、初診者は戸惑う場面がありました。待ち時間に改めてその対応を見ていたわけですが、午前診療後の時間外に休みもとらずに、手際よくこなしてるスタッフの方も大変だろうと思うとイライラもなくなりました。

それから一つの気づきを心がけ、同じ生活の中でも違う角度から物事をみると視野も広がり思考も変わります。人に言われ気づくものと自然に気づくものではまた違いがあり、当たり前なことではありましたが私にとってすごくプラスになりました。

意外と自分のことってわかっているようで、わからないものかもしれません。そんな所もきちんと話せて、ダメな所をきちんと指摘が出来るような人間関係のつきあい、マイナスを口に出すことは簡単ですが、負を口にだすのは避けたいので、人の良いところをみつけプラスになる穏やかな生活を送りたいと思う今日この頃であります。

## 【ふるさと栃木県に思う】・・・手塚

北関東の中でも、栃木県は「南東北」などといわれ、同じ関東に住む人たちからも認知度が低く感じます。近年、よく話題に上がる「都道府県魅力度ランキング」（ブランド総合研究所）本年は最下位という結果でした。

このランキングの上位には、有名な観光地がある都道府県が目立ちます。北海道、京都、沖縄はいつも上位の常連です。それなら、世界遺産のある街・

日光を有する栃木県の魅力度はもっと上だと思のですが、同県は市の魅力度が上回っている地域で県は目立たない。

南関東の小学生は、修学旅行で日光を訪れることが多い。首都圏のほとんどの人が一度は訪れているはずなのだが、日光が栃木県にあるということが認知されていないようです。

全国を旅していても関西より西の方は栃木県を知らない方が多く見受けられます。

あるテレビ局でやっていた番組企画で漢字が難しい都道府県名は何処かと成人男性に問いかけたところ栃木県と40%の人が書けず1番でした。栃木県はそれくらいなじみが薄いということでしょうか。

栃木には日光以外にも、全国的に知られる施設が多いことをご存知だろうか。那須御用邸があり、高根沢には御料牧場があり皇室が静養に訪れることは有名です。那須には温泉もあり、多くの観光客が訪れています。

### ■内向的で保守的な県民性

藤棚が見事なあしかがフラワーパークも県内にある。アメリカのCNNで「世界の夢の旅行先」として国内で唯一選ばれたスポットだ。日本のみならず、世界でもこの魅力が評価されていることは誇らしい。

世界的に有名な場所といえば、ツインリンクもてぎも外せない。MotoGPなどの世界選手権も開催され、小さな町に外国人観光客の姿が見られることもある。モータースポーツファンにはおなじみの場所です。

ほかにも数多の魅力があるのだが、これがなかなか伝わらないのは県民性も一因か。栃木県民は内向的で、保守的な考えを持つ傾向があるといわれることがあります。前述のランキングは内からの視点もポイントに加えられているのだが、こうした県民性から自県の魅力を低く評価してしまっているのかもしれない。

また、県名と県庁所在地名が一致しないことも理由として考えられる。栃木の県庁所在地は宇都宮市。北関東でも人口が多い中核市であるが、県名と異なるうえに「栃木市」も存在するので、他県民にはわかりにくいのかも。

県民がその良さを実感していれば問題ないのですが、やはり地元が魅力的な都道府県の上にランクインしてほしいと思うもの。県としては広報活動などを通じて全国に栃木県の魅力度をもっと発信してほしいものです。

◆表のどこの写真かわかりますかの答え…カンセキスタジアムとちぎ◆



栃木県